

第15回（令和5年度）独立行政法人農業者年金基金契約監視委員会 議事概要

1. 開催日時

令和5年6月6日（火）13:30～15:25

2. 会場

独立行政法人農業者年金基金 特別会議室

3. 出席者

渡辺 潤 委員長（銀座総合法律事務所 弁護士）

佐藤 由美 委員（C&Yパートナーズ税理士事務所 税理士）

平野 智彦 委員（平野智彦公認会計士事務所 公認会計士）

國井 聡 委員（独立行政法人農業者年金基金 監事）

4. 議題

- （1）令和4年度調達等合理化計画の自己評価（案）について
- （2）令和5年度調達等合理化計画（案）の策定について

5. 概要

- （1）令和4年度調達等合理化計画の自己評価（案）について

基金より令和4年度における競争性のない随意契約6件、一者応札・応募となった一般競争入札15件について説明を行った。また、一者応札・応募となった契約の件数が目標値（6件）を大きく超えた原因について、一般的にシステム関係の契約については現行契約事業者が有利であり一者応札になる傾向が強く、また、記録管理システムは昭和40年代から一事業者により開発されており、過去からの年金制度を熟知していないと対応が難しいことと、印刷については、原材料の高騰（木材、原油、石炭などの資源高）と円安の進行などによる印刷用の紙代と電力価格の急激な高騰により、過去の契約実績額を勘案すると価格面での厳しさが入札参加者を減少させたと考えられ、これらの特殊要因を除けば5件であり、目標件数を下回る結果となった旨説明を行った。

これに対し、委員から特殊要因により一者応札・応募となった契約件数の今後の目標値への反映の考え方、これまでの調達等合理化計画の目標の達成状況、競争性のない随意契約の目標値が件数のみであることの妥当性等について質問・意見があり、基金から応答が行われた。

以上の質疑応答を踏まえて、令和4年度調達等合理化計画の自己評価（案）について、委員会より了承された。

- （2）令和5年度調達等合理化計画（案）について

基金より令和5年度調達等合理化計画（案）について説明し、了承された。

以上